コミュニティー・レジリエンスを育む
－ 言語以前のこころの問題へのアプローチ －

＊当財団（講座）は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を受けております。＜承認番号：20210392＞

期　　日：2026 年 2 月 14 日（土）
受講対象：教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場等で子どもにかかわる専門家の方々、
　　ならびに大学生・大学院生など、本テーマに関心のある方
定　　員：60 名（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください。先着順となります。）
受 講 料：8,500 円（税込）
主　　催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団　TEL 03-3986-7021
会　　場：明治安田こころの健康財団 講義室　※詳細地図は受講証に添付いたします
　　東京都豊島区高田3-19-10
　　JR山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」より徒歩7分

注意事項：本講座は当日の講義を収録し、後日オンライン配信をいたします。
講義室後方より撮影・録音を行うため、カメラに映る可能性があること、また質疑応答等でお話しいただいた内容が配信されることをあらかじめご了承ください（個人情報を含む内容は編集し配信いたします）。

＊＊＊ ご企画 ＊＊＊　**山下　洋 先生**　九州大学病院子どものこころの診療部 特任准教授
白川 美也子　先生　こころとからだ・光の花クリニック 院長
杉山 登志郎　先生　福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授
五十嵐 郁代　先生　むずれひっぽ相談室　（ご出講順）

本講座では、予期せぬストレスフルな出来事や多様な特性にもとづく障壁に遭遇する子どもと家族に対して、多領域の実践の場で何が出来るかをテーマとして回を重ねてきた。子どもと家族に世代を超えた影響をもたらす ACE のピラミッド・モデル―アタッチメントとトラウマの問題への対処について、臨床と研究のエキスパートから回復への道筋が呈示されたなかで「レジリエンスを育む」という共通要素が見いだされた。Toxic Stress の影響は早期発達過程―言語以前の体験過程に始まり身体・関係性・社会―歴史の多層におよぶ。

そこで、今年度の本講座ではトラウマケアの多層的なアプローチの第一人者である講師を迎え、言語以前のこころの問題へのアプローチについての講義とともに、身体技法のエキスパートによる実践の紹介と対談を行います。　【九州大学病院子どものこころの診療部 特任准教授　山下　洋】

＜プログラム＞　※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

時　間	テ　ー　マ	講 師（敬称略）
10:00～11:00	導 入 ： 言語以前の発達段階におけるトラウマからの回復と レジリエンスの概念について	山下　　洋
11:10～12:40	トラウマ治療に流れるノンヴァーバルなメタスキルと 発達性トラウマの治療	白川 美也子
12:40～13:40	昼　食（各自おとりください）	
13:40～15:10	からだからのトラウマ臨床：その後の長いケア	杉山 登志郎
15:20～16:50	言葉になる前のこころに触れる －身体技法とレジリエンス－	五十嵐 郁代 上記講師 3 名 によるディスカッション